

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成28年度第2回小金井市奨学資金運営委員会		
事務局事務 (担当課)	小金井市教育委員会学校教育部庶務課		
開催日時	平成28年10月31日(月) 10時00分から11時15分まで		
開催場所	小金井市役所第二庁舎801会議室		
出席委員	鮎川委員長、福元委員、末松委員、斉藤委員、坂本委員、塚田委員		
欠席委員	不破委員長職務代理者		
事務局	市長、川合学校教育部長、加藤庶務課長、平野庶務係長、松下庶務係主任		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合はその理由			
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成28年度奨学生及び奨学資金の運営状況について 2 平成29年度奨学資金の予算案等について 3 その他 		
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成28年度奨学生及び奨学資金の運営状況について事務局より次の事項について報告した。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 選定結果 (2) 辞退結果 2 平成29年度奨学資金の予算案等について <ol style="list-style-type: none"> (1) 事務局より次の事項について配布資料に基づき説明 <ol style="list-style-type: none"> ア 平成28年度26市奨学資金制度について イ 過去10年の小金井市奨学資金支給状況 ウ 都立高等学校授業料の推移 		

- エ 平成28年度奨学生選定各評価基準等
- オ 平成29年度小金井市奨学資金の予算案等について
- カ 過去3年の奨学資金制度の改正点
- キ 高等学校等就学支援金について
- ク 小金井市の財政状況等

(2) 平成29年度奨学資金の予算案等について

- ア 本市の財政状況や他市の動向を踏まえたうえで、本市の奨学資金のあり方を熟慮し、次年度も引き続き前年度と同様といたしたい。
- イ 上記1を踏まえた予算案
高校生及び高等専門学校生（1～3年生）
一人当たり5,300円×35人×12月＝2,226,000円
大学生及び高等専門学校生（4・5年生）
一人当たり12,200円×3人×12月＝439,200円
- エ 奨学生の選定についても、別紙「奨学生選定各評価基準」に基づく選考といたしたい。

(3) 委員意見等

- ・予算が毎年度マイナスになっている中で、奨学資金制度を維持することができていることに意義がある。
- ・苦しい財源、給付型が減っている中で小金井市は頑張っている。
- ・続けることに意義がある。国に先駆けて実施している。
- ・市の財源が厳しいのであれば貸付も検討する必要があるのではないか。返すことで奨学金のありがたみが実感できるのではないか。
- ・給付型の奨学金がどのように役立っているか、アピールをする必要があるのではないか。
- ・奨学金を受けた方の声を発信するのが一番いいやり方ではないか。
- ・所得の格差が広がっている中で、評価基準を学業40点、家計状況を50点にしてはどうか。条例を考慮す

	<p>ればせめて同率にするべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学業50点と家計40+その他10点で50点と考えればよいのではないか。 ・2.6の基準について、今後頑張っていきたいと考えている子どもたちを救う意味でも2.6くらいがいいのではないか。 <p>(4) 平成28年度奨学資金の予算等について</p> <p>ア 本市の財政状況や他市の動向を踏まえたうえで、本市の奨学資金のあり方を熟慮し、次年度も引き続き前年度と同様とする。</p> <p>イ 上記1を踏まえた予算要求</p> <p>高校生及び高等専門学校生（1～3年生） 一人当たり5,300円×35人×12月＝2,226,000円</p> <p>大学生及び高等専門学校生（4・5年生） 一人当たり12,200円×3人×12月＝439,200円</p> <p>エ 奨学生の選定についても、別紙「奨学生選定各評価基準」に基づく選考とする。</p>
<p>提出資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 小金井市奨学資金運営委員会委員名簿 2 平成28年度26市奨学資金制度について 3 過去10年の小金井市奨学資金支給状況 4 都立高等学校授業料の推移 5 平成28年度奨学生選定各評価基準等 6 平成29年度小金井市奨学資金の予算案等について 7 過去3年の奨学資金制度の改正点 8 高等学校等就学支援金について 9 小金井市の財政状況等